

平成22年10月26日発行(偶数月26日発行) 平成10年5月22日第三種郵便物認可 第20巻第6号通巻115号

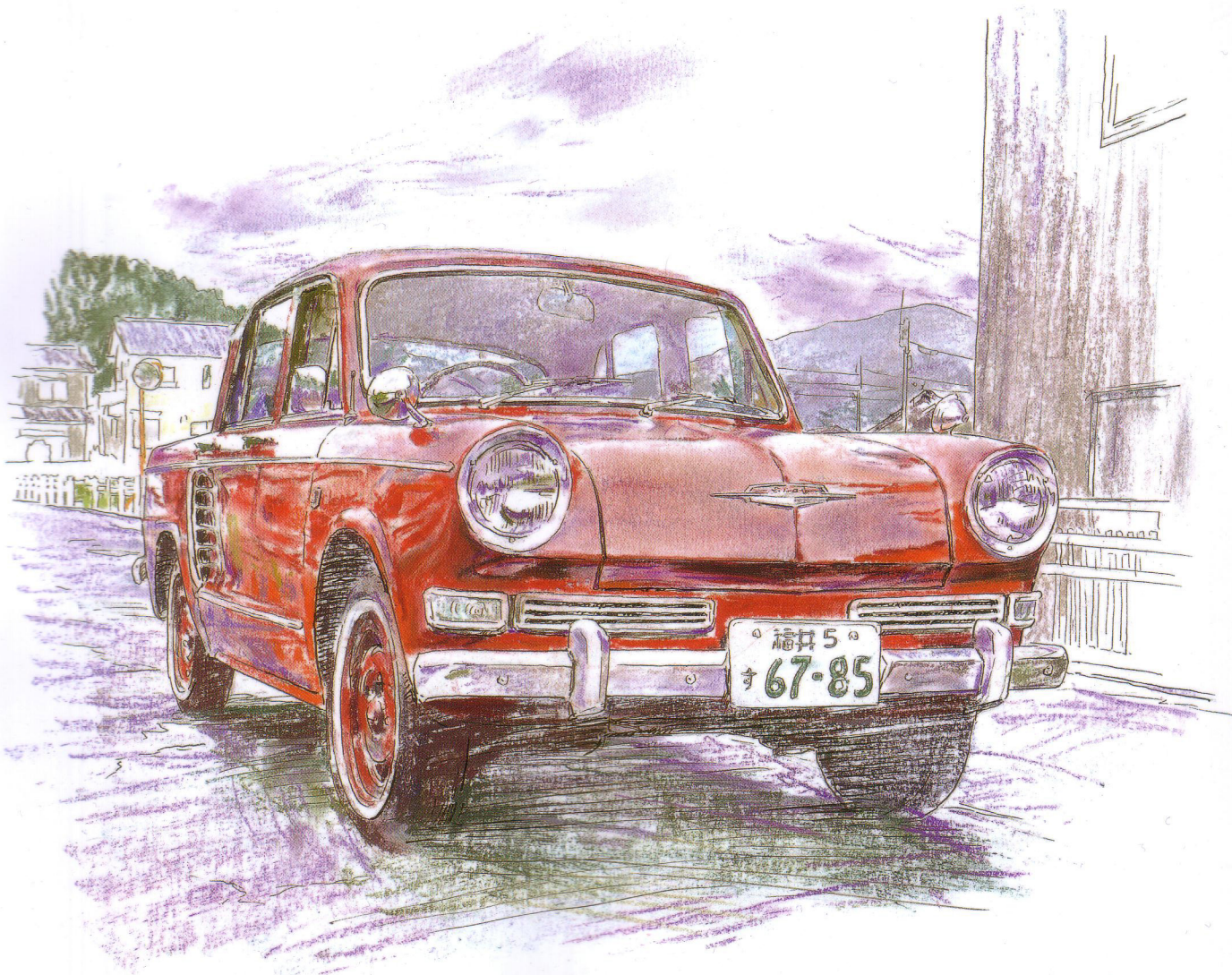
Old-timer

オールド・タイマー

The power source that keeps your classic vehicles running.

115 DECEMBER 2010
隔月刊 **12月号**
次号は12月25日(土)発売

ファミリアクーペ「いつまでも工作少年」／発見! スバル1300Gバン4WD
プリンスマイラーとオールドトラクター／ペレット「われらサルーン派」
関西・謎のマツダ党／未再生原形車「117クーペ」
レア車「コンテッサ900」／ホイール修理術・上級編
ケルン石塚「シム研磨機の自作」



2010
Shin

EVENT 5

名古屋の新名物
旧車、スーパーカー、ライブが渾然一体

オートレジェンド2010

日時●2010年9月26日

場所●愛知県名古屋市 ポートメッセ名古屋
主催●オートレジェンド実行委員会



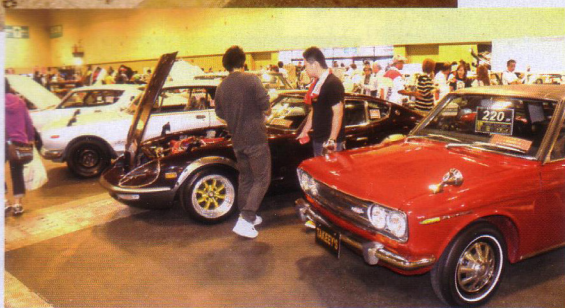
●会場には「旧車会」のバイクから現行スーパーカーまでさまざまなジャンルのクルマが並び、写真のドラッグスターはこのあと屋外へ。「ライブエキゾーストノート」で爆音を轟かせた。

●浜松の大型ショップ・タキーズはハコスカ、Zの他に510ブルや観音開きクラウンなども展示。

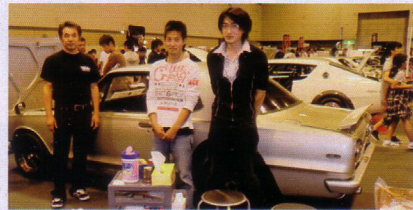


●レストア中のディーノ246GTと完成車の206GTを展示した岡山のレストアショップ「オールドボーイ」。もともとジャガーEタイプが得意で、現在は内外旧車の整備・レストアを受け付けている。

●今年もクーラーキットが大いに売れた？ スターロードはレストア車をランプに上げてミラーを置き、下まわりの仕上げを見せていた。



●ダイハツ自動車(愛知)は日本にまたないメルセデス2台を展示。奥はヒロ・ヤマガタ氏がペインティングを手掛けた220カプリオレ(書付き車は国内でこれのみ)。手前は'34年製130H。なんとリヤエンジン(写真下)である。某財閥家が新車時から所有していたもの。



●S20エンジンのメンテで知られるアールファクトリー(栃木)のブースにはテスト終了したカムギヤトレインキットがあった(写真下、左が試作で右が製品)。オイルポンプのギヤトレキットは以前からあるがカム駆動までGR8と同じにしてしまった。

●設立して12年目の水上オート(埼玉)の石井さん(右)と丸山さん。日産車を中心に整備・レストアを行いL型、S20用のオリジナル部品の製作販売。「でも外車や古いジムニーの整備もやるんですよ」(水上公弘社長)。

●広い会場にボツンと展示されていたLY型クロスフローエンジン……と思いきや、なんとL型のブロックにRBのヘッドを合体させたスペシャル(OMR製)。水穴、オイル穴を「ハイデッキ」という手法でクリア。イベント直前に組み上がったエンジンにはまだ火は入っていないが、「同好の士を募って市販したい」と企画担当の若松さん。

名古屋のクルマ好きタレントといえは元プロボクサーの薬師寺保栄氏だ。その彼が10年間、司会を務めた番組「ドリムカー倶楽部(中部日本放送他)」が今年6月に終了。これとリンクして3年間開催されてきた「名古屋ドリームカーショー2010」も中止となった。独特の盛り上がりを見せたショーだけに中部地区のクルマ好きは肩を落としたと聞く。このままでは名古屋から万人が楽しめる自動車イベントが消えてしまう。そう



●アルミ板金、FRP成形、フレーム製作を手がける愛知の鬼才ビルダー、村手智一さんが設計製作した250ccトライク「MURATE」(プロト)。これまでのトライクにはない低いプロフィールと操縦感覚が特徴。販売予定価格は88万3000円(リヤリジッドタイプ)。



危険した同地のクルマ業界人有志によって立ち上がったのが「オートレジェンド」である。発起人はおなじみロッキードの渡辺喜也社長。かねてから自分たちで理想のクルマイベントを作りたいと思案していただけに、タイミングはベストであった。限られた期間に手際よく準備を整え、この日の幕開けとなった。屋内型の旧車ショーにはさまざまなパターがあるが、このイベントはそれらの楽しめる要素をうまくミックスし、ショーアップした点がユニーク。会場を陣取るショップはスーパーカー系とハコスカ、Z系に加え、ロータリーエンジン車、欧米クラシックカーなども軒を連ねる。ドラッグスター、ファニーカーとともに美しくレストアされた旧車会。のバイクが並ぶクロスオーバーよりは名古屋ならではのカルチャーか。トリークショーに招かれたゲストは井手つっきよ氏と稲田大二郎氏。薬師寺氏も新番組の撮影を兼ねて訪れた。行き交うオートレジェンドガールにレンズを向ける愛好家たちの熱心な姿はオートサロンを彷彿とさせる。屋外では公開パワーチェックを受けるチューニングカーが唸り声を上げていた。しかしなんといっても会場を沸かせたのは午後4時半から行われたクルースのライブだろう。結成35周年を迎える彼らのパフォーマンスにギヤラリーは大満足だったに違いない。(甲)



●ショーの終盤を飾ったCOOLSのライブは会場内の特設ステージで行われた。結成35周年!